

最新研究で判明!! 抑制することので

東京医科大学医学部総合研究所教授 中島利博

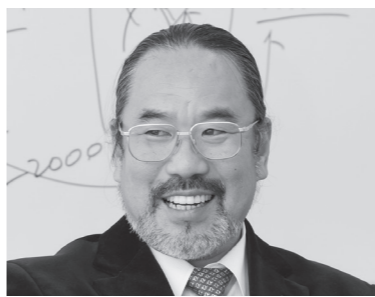
関節リウマチ改善のカギとなる

代謝調節遺伝子「シノビオリン」

長年不治の病とされてきたリウマチ

関節リウマチとは骨格の関節部に腫れや痛みが生じる病気です。一度発症すると、生涯、激痛に苦しむ不治の病として、昔から恐れられてきました。

実は、私はリウマチの家系です。祖父が関節炎、祖母がリウ



中島利博

1989年、鹿児島大学医学部卒業。米国ハーバード大学医学部教官、聖マリアンナ医科大学教授を歴任後、2013年より現職。リウマチの研究に従事し、国際的にも高い評価を受けている。シノビオリンの発見などで2002年には最年少で日本リウマチ学会学会賞を、2005年には日本リウマチ財団からノバルティス・リウマチ医学賞を授与される。著書に「リウマチをなおす」(出版芸術社)など。

マチ患者でした。祖母は特に酷く、関節が変形していました。2人の様子を間近で見続け、「自分にできることはないか」と悩み続ける幼少期でした。そして、大人になった私は医学の道を目指し、リウマチの研究に取り組みようになりました。

謎が多いリウマチですが、自己免疫疾患の一つであることは以前からわかっています。

自己免疫疾患とは、本来ならウイルスや細菌などを駆逐し、私たちの体を守る免疫システム

「シノビオリン」という酵素が深く関係していることが判明したのです。

シノビオリンを抑制して炎症の進行をおさえる

シノビオリンとは、発見者である私が命名したもので、不良たんぱく質を選別・分解する働きを担う遺伝子です。

シノビオリンは健康に不可欠な物質ですが、サイト

カインなどの免疫細胞同様に「量が毒をなす」で、体内に必要以上に多くなると、逆にマイナスの作用を及ぼします。シノビオリンが働きすぎるとサイトカインが増え、炎症を悪化させるのです。

つまり、このシノビオリンの活性をおさえれば、炎症の進行抑制につながるのです。実際に、動物による試験でも、この点は実証さ

が、暴走を始める疾患のことを指します。つまり、攻撃の標的を自分の体の正常細胞に向けてしまうのです。

リウマチの場合は、主としてサイトカインが暴走の主役になります。通常、サイトカインは炎症の治癒に働きますが、増えすぎると逆に炎症を促進させるのです。

関節は、関節液や栄養分を供給する滑膜と呼ばれる薄い膜で覆われています。リウマチが発症すると、この滑膜に炎症が生じ、炎症が慢性化すると、滑膜が腫れて軟骨を覆うようになります。

このとき、滑膜から大量にサレています。意図的にシノビオリンをたくさん作り出すようにしたネズミには、リウマチに似た症状が現れます。一方で、シノビオリンを半分しか作らないようにしたネズミは関節炎にならないことも確認されました。また、リウマチのみならず、肥満・糖尿病、ガンなどにも効果があることが確認されています。

また、レミケードが効かない患者さんには、シノビオリンの量が多いという共通点があることも判明しています。シノビオリンの状態によって、その患者さんにレミケードが有効かどうかを判断する。そうした、より効果的な投薬治療ができるようになりました。

モニター調査の結果も良好です。30〜60代の78人の女性にシノビオリン抑制効果のあるサプリメントを試してもらいました。調査期間は2016年2月中旬から3月中旬にかけての

イトカインが分泌され、炎症が激化します。さらに、サイトカイン自身が滑膜の増殖を促し、増えた滑膜が、新たなサイトカインを生み出す。負の連鎖も始まるのです。やがて、増え続けた滑膜は、軟骨や骨まで破壊していきます。これこそ、リウマチがもたらす激痛の理由です。

この負の連鎖を断ち切ることができれば、リウマチの悪化をおさえることができます。

実際、この視点を基に新医薬品(生物学的製剤)が、近年では次々と開発されてきました。レミケードはその代表です。ただ、レミケードにも難点は

1ヵ月間。1ヵ月後の結果は、左上のとおりです。「かなり改善」「やや改善」「改善」と答えた人の割合を表しています。全ての項目において、6割近くのかたが改善しています。

モニターのかたから、以下のような声が寄せられています。「右ひざの痛みはかなり改善しましたが、左ひざはまだ痛むので今後も続けたいです」(49歳)

「昨年から左肩の痛みと右手指のこわばりを感じて、夜中に目覚めることがありました。しかし、モニター期間中は夜に目覚めることがなくなりました」(52歳)

「モニターを始めてから3日程度で関節痛が気にならなくなりました。坐骨神経痛の痛みも解消されました」(54歳)

もはやリウマチはがまんするだけの病気ではありません。悩まず、あきらめず、治す意欲を持ち続けてください。

最新研究で判明!! 抑制することで関節リウマチ改善のカギとなる代謝調節遺伝子シノビオリン

◆◆◆関節の悩み1カ月の変化◆◆◆

悩み	かなり改善	やや改善~改善	合計
ひざの痛み	7.7%	53.8%	61.5%
手指の腫れやこわばり	8.6%	51.0%	59.6%
手指の痛み	11.4%	47.7%	59.1%
ひじの痛み	4.2%	54.2%	58.4%

◆◆◆飲み始めて体に変化を感じた時期◆◆◆

	1週目	2週目	3週目	4週目
効果を実感した	29.50%	33.30%	20.50%	11.50%

※「健康調査隊モニターアンケート調べ」